

ネットワーク八木山

発行責任
八木山まちづくり協議会
八木山地区社会福祉協議会
八木山地区若年育成市民会議
八木山まちづくり協議会
副会長 松が丘連合自治会
会長 木下 幸次
事務局 岡本 謙一

-特集- 令和5年度 活動報告

新型コロナウイルス感染症から5月に感染症法上5類に移行され、行事等の実施も主催者の自主的な判断に委ねられることになりました。収束の気配もななく、難しい状況判断を迫られる中で令和5年度の活動がスタート、感

づられた各団体の参加負担感の軽減や行事見直し等の課題に向き合い、4大行事を中心に協議会活動に取り組みにしました。「八木山フエスタ」は、協賛企業や防災関係団体の協力を得ての形がほぼ定着、「市民清掃」は小・中学生が参加し従来通り実施、「健康ウォーク」はコースを絞り、「新春のつどい」も餅つきを1か所に集約するなど、現状に見合った内容で実施、希望の持てる八木山小校区の将来に繋がる活動として、今後、更に充実されることを期待しています。

各団体も、コロナ禍や少子高齢化等、それぞれ課題を抱えながら活動に取り組んで来られました。今号はその各団体の令和5年度活動報告を1紹介します。

持続可能な

まちづくりの活動の推進を

八木山まちづくり協議会 会長 杉山 忠男
つづしが丘連合自治会 会長 山田 美奈子

コロナ禍で行事が無いの

を幸いとされる声もある中、4大行事をすべて開催するにあり、「人生100年時代」に向けた検討が国全体事などで、「ふるさと」としての八木山地域を感じ、率も上昇を続け、令和5年度(2040)年には、国民の3人に1人以上が高齢者となる見込みとされており、八木山まちづくり協議会

も一つの節目と気づいた1年でもありました。諸団体協力のもと、校区ちが多くなっています。住民のふれあいと住みよい生活環境創成のため、高齢化時代に相応じた取組が求められていることを強く意識しています。

識しました。地域課題は「少子高齢化」の中、PTA・子ども会柔軟な運営方法の導入が求められている中、地域活動のコンパクト化を行い、「持続可能な自治会運営」を目標として取り組んでい

だ。必要と受け止めた1年で生活、活動ができる喜びを

時代に沿った協議会活動を

八木山まちづくり協議会 副会長 知久 成彦
松が丘連合自治会 会長 松が丘 成彦

新型コロナウイルス感染症が5月に「第5類感染症」に移行

大事です。また住みやすいまちという点でも住民のつながりが非常に重要で、活動の休止期間で生の引継ぎが途絶え大変でしたが、参加していただく住民のみ

近年なり手不足から地域の活動の維持が難しくなってきました。1年間本当にありがとうごさいます。来年度

八木山小学校PTA 副会長 水野 香

地域との関わりを大切に

八木山小学校PTA 副会長 水野 香

日頃より八木山小学校PTA活動にご理解、ご協力をお願いいたします。子ども

感謝です。コロナ禍による生活、活動ができて喜ぶ

地域とともに活動 持続可能なPTAを目指して

鷺沼中学校PTA 会長 星川 俊輔

日頃より鷺沼中学校PTA活動にご理解と協力を加せていただき、今まで

八木山地区におかれましては、コロナ明けでは初めて4大事業を全て開催され

私どもまちづくり協議会や

思ひ出に残る 子ども会活動を

八木山小学校子ども会 会長 山田 美奈子

日頃より、子ども会活動にご理解ご協力をいただき、

子どもたちの笑顔でいっぱい

感謝致します。

子どもたちと地域の絆

校区青少年育成市民会議 推進委員長 山下 幸次

今年度も「家族や地域の絆を深め、地域の子は地域で守りそとてる」を基本方針とし、『創りあげよう

また見直しからは感謝の言葉

また、『鷺沼中学校から

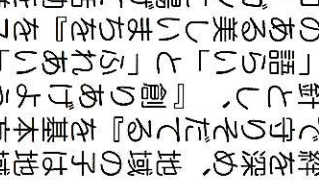
新たな活動の始まり

民生児童委員 松が丘代表 岡本 栄子

民生委員児童委員信条のなかに「わたしたちは、常に近隣ウチグループの活

市民児童委員 松が丘代表 岡本 栄子

活動が始まっていきます。



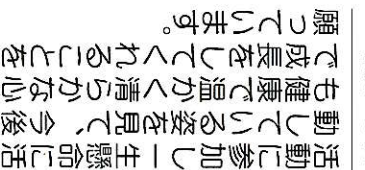
「おがせ池周囲清掃」

八木山小学校の「通学路見まもり隊」活動では今年

思ひ出に残る 感謝の会

見まもり隊「感謝の会」

「語らい」と「ふれあい」



「おがせ池周囲清掃」

